

INFO 1

ぺこぺこのはたけ

2月の小鉢御膳のご紹介とぺこちゃん雪まつりのご案内

2024年も早くもひと月が過ぎました。積雪も多くなってきましたが、皆様お変わりないでしょうか。ぺこぺこのはたけでは雪山が少しずつ高くなり、雪まつりに向けて少しずつ準備を始めています。また、店舗営業においても、足元の悪い中お越しいただくお客様をお出迎えするため、今月も新しい小鉢御膳をご用意しております。

2月の小鉢御膳は、冬の間に甘味や栄養価が熟成されたお野菜や春の訪れを感じさせる菜花を使った、風情豊かな料理となっております。体調を崩しやすいこの時期にもピッタリな料理となっておりますので、天気の良い日にはぜひともご来店くださいませ。

また、2月24日には「ぺこちゃん雪まつり」を開催いたします。餅つきやイグルーづくりなど、冬ならではの催し物や、豚汁、甘酒など、凍えた身体を温める料理なども準備しております！

昨年度は総勢200名の方にご来場いただいた、大規模イベントです！参加申し込みは不要となっておりますので、ぜひお気軽にご参加くださいませ！



INFO 2

Pâtisserie Ruelle

特別なケーキと春の商品のご紹介

2023年のクリスマスは、様々なお店の中からRuelleのクリスマスケーキを選んでいただき、誠にありがとうございました。これからお客様のご期待に沿えるよう精進してまいります。

さて、Ruelleではお客様のご要望に応じたケーキも取り扱っております。お誕生日ケーキはもちろんのこと、パーティー用に大きなケーキをご用意することも可能です。ご予算に応じてお作りいたしますので、お気軽にRuelle店舗までお問い合わせください。特別な日にいつもと少し違うデコレーションケーキはいかがでしょう？

また今後、3月は抹茶テリーヌや抹茶シュークリーム、4月は桜モンブランや桜シュークリームなど、春の訪れを感じる商品が並ぶ予定です。少しずつ暖かくなり、お出かけする機会も増えてくるかと思えます。お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

Pâtisserie Ruelle TEL 011-376-0644



Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

◎社会福祉法人への寄付について

- 1 個人の場合
- 2 法人の場合
- 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除または税額控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。
超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<https://yu-yu.or.jp/contact/>



ゆうゆうの今を伝える広報紙



YOU YOU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



ごちゃまぜサロン風景

YOU YOU MAGAZINE 2024 WINTER

デザイン/株式会社ブリオンデ 山崎啓太郎 発行/社会福祉法人ゆうゆう 広報 tel:0133-22-2896 mail:info@yu-yu.or.jp

2023 / 2 WINTER



ノウフク・アワード2023チャレンジ賞受賞



「野布瀬農園」「野布瀬の森」を中心とした取り組みが「ノウフク・アワード2023」においてチャレンジ賞を受賞しました。

農福連携の取り組みをはじめ、十数年。「野布瀬農園」では、大切に受け継がれてきた農地を「野布瀬さん」から継承し、お米やとうもろこし、馬鈴薯などの野菜を育ててきました。ここでは、広大な畑の中で利用者と職員が走り回るほのぼのとした時間や、真剣なまなざしで仕事に取り組む瞬間を大切にしています。また、子どもたちが、あらゆる人たちと関わりながら農業を体験する貴重な教育資源にもなっています。「野布瀬の森」では、自然に生えてくる木を大切に育てる「自伐型林業」に取り組み、四季折々に色づく森では、子どもから高齢者の体験型の憩いの場ともなっています。今回の賞を機に、もう一度、「誰のために」「何のために」やっているのかを問い直し、働く場を地域に開き、多様な人たちが農業や森の活動を通じて新たなつながりとなる取り組みの輪を広げていきたいと思えます。



和寒町ふくしのまちづくりプロジェクトの経過報告

和寒町ふくしのまちづくりプロジェクトでは、町民サミット・まちづくりラボ・検討会等のプロセスを経て、和寒町の皆さんとプロジェクトの重要な方向性や様々な提案について検討を重ねてきました。

昨年12月に今後のプロジェクトの方針・理念となる「和寒町ふくしのまちづくり基本構想」の骨子を和寒町へ提出し、町民の皆さんからのご意見（パブリック・コメント）を募っております。

町へ提出した「基本構想骨子案」について、基本理念は「共倫（きょうゆ）するまちを創造する」とし、お互いを想い、楽しい（たのしい）まちづくりを追求する、誇れるまちとなる実践の展開、誰もが安心して住み続けることができる地域福祉、自分たちで考え自分たちで行動する、という内容を基本方針に盛り込んでいます。

特養建て替え後の新しい施設の設置・運営主体は「民設・民営」を提案、施設の機能候補案として①最期まで暮らし続けることのできる特別養護老人ホーム、②あらゆる住民が安心して在宅生活を送ることができる在宅支援サービス、③子どもが大切にされる機能、④あらゆる住民が活躍できる雇用創出、⑤和寒町の農業・食文化の推進の5つを提案しています。

今後は、3月16日（土）13時30分から「第3回和寒町ふくしのまちづくり町民サミット」を開催します。町民の皆さんとこれまで検討を重ねてきた成果となる、基本構想の完成のご報告をする予定です。これまでのサミット等で学んだ「まちの人それぞれができることでお互いを支え合うこと」を和寒町の皆さんと一緒に実践していき、和寒町内外問わず、あらゆる方が自分たちのまちについて語り合うきっかけとなるプロジェクトになればと思います。今後もぜひ注目していただければと思います。引き続き応援よろしくお願いたします！



基本構想骨子案については、こちらのQRコードからご覧いただけます。



ぺこちゃんクリスマス会 ～自分だけのクリスマスリース、ケーキづくり～

昨年12月にぺこちゃんクリスマス会を開催いたしました。定員50名様イベントでしたが、あらかじめ地域の皆様に広くお知らせしたこともあり、あっという間に満員となりました。当日はお足元の悪い中、多くの子もたちがいらっしや、クリスマスリースやケーキをみんなで一緒に作りました。クリスマスリースはトマツツの木を土台に括り付ける地道な作業でしたが、子どもたちも集中して取り組み、最後は松ぼっくりやポンポンなどで綺麗に飾りつけをしました。その後のクリスマスケーキづくりも、生クリームやフルーツをふんだんに使って、思い思いの「自分だけのクリスマスケーキ」を作りました！会の最後には、みんなでクリスマスソングを歌うと…なんと！サンタさんがやってきて、子どもたちにお菓子のプレゼントを渡しに来てくれました！

今年も多くの方々にお越しいただいたぺこちゃんのイベント、今回は2023年の締めめにふさわしいイベントとなりました！



冬休み支援プログラム

amaririsuでは、中学生高校生がイベントを企画する機会を数年前から設けています。今回の冬休みは「クッキー作り」「ゲーム大会」を企画しました。以前はスタッフが主体となり準備を進めていましたが、今回は子どもたちが主体的に内容を考え、会場設営、買い出し、司会進行と、それぞれが出来ることに取り組むようになりました。企画する中高生の姿を見た小学生は「中学生になったらゲーム大会を企画したい」と話しており、小学生にとっても良い刺激となっています。今後もこのような機会を通して、考える力や挑戦する力、そして失敗しても助け合える力を養っていきます。



kaedeでは、冬休み期間は毎日異なるイベントを開催しました。ポッキーツリーづくりやこやきパーティーなど調理の機会も増え、協力しておやつづくり、楽しみました。また、年越しそばや初詣、書き初めや福笑いなど、季節の文化に親しみ、体験することもできました。子どもたちは「雪大好き！」家で雪かきができるようになりたいと進んで外に出るなど、寒さに負けない元気いっぱい冬を過ごしています。今後もイベントや活動を通して、子どもたちにたくさんの経験の機会をつくっていきたく考えています。



みんなで過ごした年末年始

グループホームの年末年始は、地域生活支援部だけではなく、ゆうゆう職員全体で利用者の皆さんの生活を支えることができました。今年は皆さんにより年末年始を感じて、楽しんでいただけるように、お餅つきやしめ縄作りをはじめ、昨年よりもパワーアップしたイベントを考えました。お餅は皆さん好きなトッピングで食べ、しめ縄作りはなんと、入居者さんとスタッフが手作りしてお部屋に飾りました。

また年始には、これからの1年間の祈願を込めて初詣などの外出もしました。それぞれの生活を基盤としながら、いつもとは違う日常を過ごされた年末年始となりました。

2024年も皆さんと1日1日大切に楽しく過ごしていけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



冬でもほかほかごちゃまぜサロン

2023年最後のごちゃまぜサロンは田西会館での忘年会でした。約4年ぶりに参加者の皆さんとお食事をする機会となり、学生さんに「若いんだから食べなさい」とおすそ分けしてくれたり、「おいしいね」と食事を楽しむ姿が見られ、久しぶりの光景でした。風船バレー、じゃんけん大会など皆さん全力で盛り上がり、活気溢れる忘年会となりました。

2024年第1弾のごちゃまぜサロンには、北海道医療大学看護学科の学生が実習で参加し、季節を感じる会にしようとして折り紙でおひなさまを作ったり、地域のぼれぼれ倶楽部さんお手製の甘酒を飲みながら、昔話に花を咲かせるなど、参加者と学生がお互いに得意不得意を補い合うあたたかい時間となりました。

ごちゃまぜサロンは誰もが参加でき、参加者が自主的に活動できる場所を目指していますが、学生は参加者から、参加者は学生から、お互いにエネルギーをもらい「楽しかった」と皆さん素敵な笑顔でした！

次回2月29日はバスに乗って行きかけた！エスコンフィールドにお出かけします。ごちゃまぜサロンは参加するメンバーのやりたいことをみんなで叶えていきます。冬の期間も雪や寒さに負けない、あたたかい集いの場を皆さんと一緒につくっていきたく思います。



福祉を通して出会い、学ぶ

今年度は、道内7つの中学校や高校で福祉教育を実施しています。特に地元の当別高校では、探求の授業で5名の生徒がゆうゆうをフィールドとして「人を知る」「自分を知る」ところから探求をすすめました。森林ボランティア「シラカンバ」の皆さんと野布瀬の山で切った木の枝を切り、焚き木を囲んで将来の夢を語ったり、ぺこちゃんサポートクラブメンバーのお宅に訪問し、人生で起こった様々な出来事を聞き圧倒されたり、学校と自宅の行き来の中ではなかなかできない経験をしています。福祉というと、「介護」や「大変な仕事」というイメージを持ちがちですが、地域に根差し多様なフィールドを持って展開していることに驚かれます。

「福祉は意外と身近にあり、たくさんの人と関わる楽しいこと、地域の中で、皆で生きること」と感想を述べてくれた生徒もおり、これからの社会をつくっていく若い方々が、福祉を通して自分を見つめ直し、多様な価値観と出会って生きていくことの一助となればと思います。

